

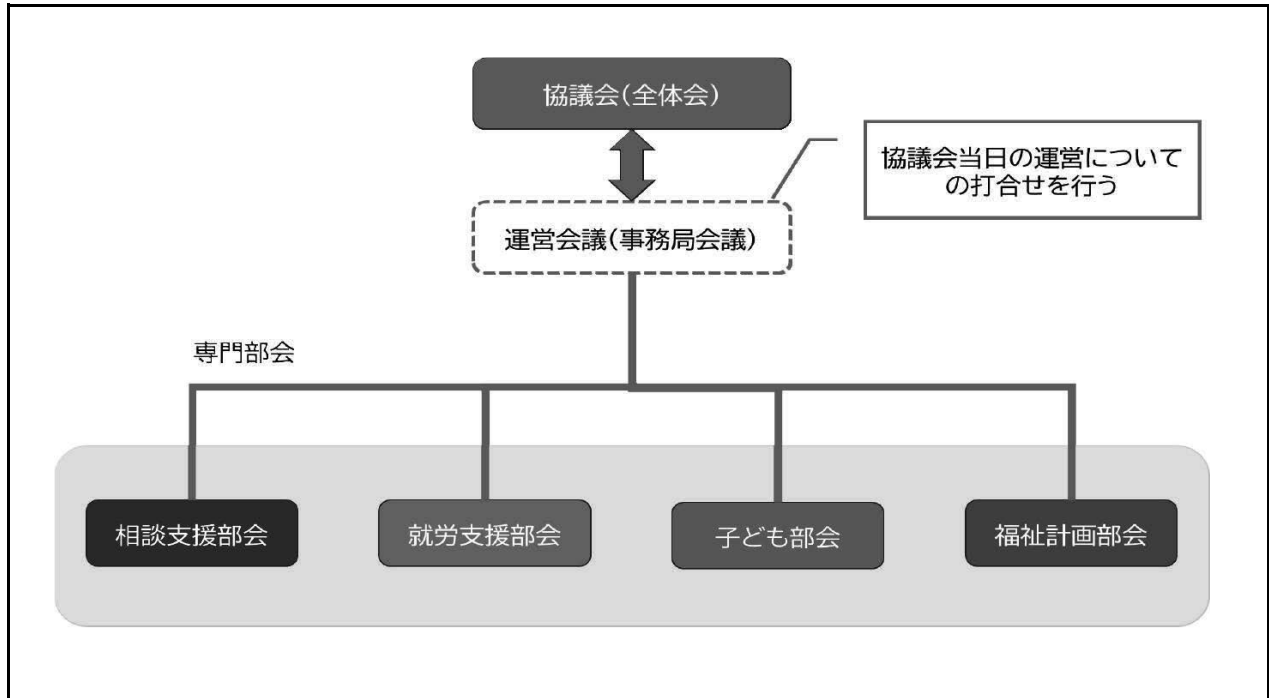
渋谷区

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 渋谷区自立支援協議会

(2) ホームページURL https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kenko/shogai-seikatsu/kyogikai/jiritusien_kyougikai.html

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門 部会等	その他
-----	------	-----------	-----

具体的な内容

相談支援部会及び就労支援部会については集合形式
子ども部会及び福祉計画部会については原則リモート形式にて開催

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門 部会等	その他
-----	-------------	-----------	-----

具体的な内容

相談支援部会、子ども部会、福祉計画部会は平日日中に実施
就労支援部会については平日夜間に実施

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
1	会長	高橋 幸三郎	東京家政学院大学 名誉教授	学識経験者		12
2	副会長	本田 道子	渋谷太陽の会 会長	家族・関係団体		12
3	副会長	浦野 耕司	明治学院大学 非常勤講師	学識経験者		8

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験 年数
4		大日方 邦子	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 会長	障害当事者（ピアサポーター含む）		8
5		堀口 智子	渋谷区手をつなぐ親の会 会長	家族・関係団体		12
6		遠藤 美砂子	渋谷区障害者団体連合会 渋谷区肢体不自由者父母の会 会長	家族・関係団体		4
7		古舘 亮子	渋谷区障がい者基幹相談支援センター センター長	社会福祉協議会		2
8		安井 一裕	一般社団法人しぶや系をつむぐ会 代表理事	相談支援事業者		4
9		永田 弘行	渋谷区公共職業安定所 雇用開発部長	雇用関係機関		1
10		須藤 シンジ	NPO法人ビーブルデザイン研究所 ファウンダー	雇用関係機関		8
11		島添 聡	東京都立光明学園 校長	教育関係機関		1
12		木実谷 哲史	渋谷医師会理事 木実谷医院院長	医療関係者		6
13		坂本 真理子	渋谷区歯科医師会 元代々木歯科医院院長	医療関係者		10
14		原 真衣	NPO法人ヒューマンケアクラブ ストライド ストライドクラブ 施設長	障害福祉サービス等事業者		8
15		野崎 克己	作業所連絡会 NPO法人渋谷神宮前 ワークセン ターひかわ 所長	障害福祉サービス等事業者		8
16		三宅 聖子	渋谷区生活実習所つばさ 施設長	障害福祉サービス等事業者		8

（２）委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	相談支援 部会	就労支援 部会	子ども部会	福祉計画 部会
学識経験者		2				2
医療関係者		2		1	2	
保健所		0			1	
教育関係機関		1			1	
雇用関係機関		2		3		
企業		0				
障害当事者（ピアサポーター含む）		1				1
家族・関係団体		3	1		3	3
身体・知的障害者相談員		0				
相談支援事業者		1	6		1	
障害福祉サービス等事業者		3	1	18	5	3
社会福祉協議会		1	2			2
法曹関係者		0				
民生委員・児童委員		0				
地域住民		0				
行政職員（区市町村）		0	5	2	9	4
行政職員（都）		0				
その他		0				
計		16	15	24	22	15

3 地域自立支援協議会の活動状況

（１）地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

基幹相談支援センターからの事例報告から相談支援体制について協議
相談支援部会での検討内容を全体会で報告・協議

② 就労支援に関すること。

就労支援部会での検討内容を全体会で報告・協議

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

就労支援部会において、高齢・障がいネットワーク会議の実施

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

基幹相談支援センターからの事例報告をもとに協議

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

各専門部会での検討内容を全体会で報告・協議
障害福祉サービス等事業所職員の交流会を開催し、全体会で報告
基幹相談支援センター連絡会への協議会委員の関与

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

福祉計画部会内の渋谷暮らしのつながり検討会における地域資源の評価・検証内容を全体会で報告・協議

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

渋谷区障がい者差別解消支援地域協議会を設置し、障がい者差別に関する相談事例の検討などを通して関係機関の連携体制を構築し、差別の解消を推進

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

福祉計画部会内の渋谷暮らしのつながり検討会における検討内容を全体会で報告・協議

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

進捗状況について、全体会で報告・協議
次期計画策定に向け、福祉計画部会にて計画の内容について議論・検討

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

令和6年度以降の協議会の在り方及び委員構成等の検討を実施

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

各専門部会において、地域や関係機関等の情報を集約し、全体会において報告

② 情報共有・情報発信

各分野における課題の共有や事業・取組みなどの情報を共有

③ 分野を越えてのネットワークの構築

全体会や各専門部会において他分野との連携を構築
専門部会合同開催による障害福祉サービス等事業所職員交流会において分野を超えたネットワークを構築

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

子ども部会において、区内の支援機関の役割等について検討し、全体会で報告・協議
相談支援部会において、区内の社会資源の過不足について検討し、全体会で報告

⑤ 地域課題の整理

各部会等において課題を抽出・整理

⑥ 課題解決に向けての検討

各分野で上がってきた課題について、各専門部会を中心に検討し、全体会にて報告・協議

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

全体会開催時に計画の進捗管理を報告・協議

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

相談支援部会と基幹相談支援センターが協力して研修実施

⑪ 相談支援過程における評価（相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言）

基幹相談支援センターからの事例報告から相談支援体制について協議
各専門部会等において相談支援体制の検討・評価を実施し全体会で報告・協議

（３）地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

地域課題について部会で取りまとめ、運営会議に諮り、本会で協議する事項について検討している。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援部会と基幹相談支援センターが協力して、支援の質を向上させる目的で研修会を開催

④ 高齢福祉分野との連携

就労支援部会及び相談支援部会において、障がい者の高齢化に伴う介護保険へのスムーズなサービス移行のため、障がい福祉と高齢・介護に関わる事業者などを集めた連携会議を開催

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

専門部会合同開催の障がい福祉サービス事業所職員交流会において、事業所を超えた顔の見える関係性づくりを実施
高齢者・障がい者施設の人材確保のため「福祉・介護のおしごとフェアinしぶや」の実施
若い世代の職員同士の顔の見える関係性づくりのため、次世代ネットワーク会議を開催

⑦ 医療的ケア

重症心身障がい対応の新たな拠点整備に向けた進捗報告と施設整備後の在り方について協議

⑧ 障害児支援

子ども部会において、子ども発達相談センター、保育課、保健相談所、教育センター、家族団体等と連携して切れ目のない支援について協議
保護者支援として、子ども部会を中心に子育て応援コミュニティの運営

⑨ 教育支援

子ども部会において、教育センターと連携して情報共有及び課題について協議

⑩ 就労支援

就労支援部会において、就労支援について協議し、全体会で報告・協議

⑫ ライフステージを通じた支援

ライフステージの移行に伴う支援の切れ目について、各部会で検討し、全体会で報告・協議
就労支援部会において、高齢・障がい連携会議を実施

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

② 社会資源の開発及び改善

重度の障がいや医療的ケアなどの対応について、自治体ごとの施設整備やサービス事業者の誘致には限界がある。ブロックごとや近隣区との共同など、広域的な視点による施設やサービスの整備が必要

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

今後の深刻な人材不足が明らかな中で、子どものうちから福祉の仕事を身近に・魅力的に感じてもらう工夫、大々的に福祉人材の募集を行う機会の創出、人材をプール・派遣する仕組みなどで従事者の労働環境を向上する取組みなどの検討が必要

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	活性化したとは言えない。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	--------------	-------	------------

イ 活性化したと評価する理由

【専門部会】

- ・次期障がい福祉推進計画策定に向け、グループ討議を取り入れた。(相談支援部会)
- ・高齢化への対応を目的として、渋谷区ケアマネジャー連絡協議会と連携して高齢障がい者のくらしの支援に関する会議を企画した。(就労支援部会)
- ・区の各部署と連携し、開設した児童発達支援センターに対する要望と調整検討の依頼をはじめ、子育て応援活動等の活動や新規事業に対する協力等、福祉計画施策のPDCAサイクル(評価と改善)の情報交換においてサービスの充実を確認した。(子ども部会)
- ・障がい福祉推進計画策定年に該当したため、部会の実施回数を増やし、必要に応じて部会員に限らず他の障がい福祉サービス事業者の意見等も取り入れながら議論を行った。(福祉計画部会)

ウ 活性化するための今後の取組

令和6年度に委員の改選、協議会・専門部会の再編を行う。
今後はこれまで以上に個別事例からの地域課題の抽出・検討を重視、課題に即した委員の選定を可能にしていく。

(2) ICTの活用

- ・状況に応じて、部会によってはWeb会議方式を活用し開催
- ・相談支援事業所への定例調査における電子フォームの活用
- ・音声認識による文字起こしツールを活用し、会議録を作成